

＜ 国 語 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	現代文B	学年・類型	3年I型	単位数	3	教科書	高等学校 標準現代文B (第一学習社)	
学習の到達目標		近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。						
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 話す・聞く能力	C 書く能力	D 読む能力	E 知識・理解			
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			
評価の方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取り組み状況 ・ノート、プリント類 ・長期休業中課題	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類	・レポート・感想文などの作成した文章 ・ノート、プリント類 ・定期考査	・学習活動における発言内容や音読や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント類 ・単元別テスト、漢字小テスト ・定期考査			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容					
			A	B	C	D	E	
1 学 期	4	1 世界を見つめる ・ワスレナグサ ・食と想像力	・文章の基本的な流れや、主題を把握するために、読解力を養う。 ・文章の中からそこに書かれた問題点を正しく見つけ、それについて考える心を養う。 ・筆者の体験を追体験することで、現代社会について考える糸口とする。	◎			○	○
	5	2 小説を読む(一) ・話を聞かせて ・ひよこの眼	・小説を読む面白さを味わい、鑑賞と分析のしかたを身につける。 ・作品の構成と物語の展開を理解する。 ・作品の表現、描写、言語感覚等を意識的に捉える。 ・作品の感性を読み取ると同時に、自身の感受性や想像力を豊かにする。	○	◎			○
	6	3 新しい視点 ・思い込みの危険性 ・物語を発現する力	・論理的な文章の基礎的な読解技術を習得する。 ・文章の論理構造を把握しながら読解し、その中から筆者が主張したいことを正確に読み取れるようにする。 ・日常の中では独りよがりの思考の迷路に陥りがちであることを認識する。	○			◎	○
	7	4 詩を味わう ・食事、ころも、日本海	・近、現代詩の代表詩人の作品に親しむ。 ・近、現代詩のさまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学ぶ。 ・近、現代詩の中に織り込まれた、世界認識の方法や枠組みを学ぶ。	○			◎	○
2 学 期	8 ・ 9	5 生への思索 ・経験の教えについて ・<私>時代のデモクラシー	・論理的な文章に特有の、抽象的で難しい用語・言葉遣いの意味を理解し、慣れる。 ・本文における筆者の主張がどのような筋道で展開されているか、論理構造を把握する。 ・論理的文章で扱われている問題を自分自身の問題として考え、二十一世紀を生きていくうえでの社会的問題を喚起する。	○			◎	○
	10	6 小説を読む(二) ・卒業 ・バグダッドの靴磨き	・小説を読む楽しみ、重要性をかみしめ、より深い鑑賞と読解の力を身につける。 ・自身とは異なる立場にいる語り手や登場人物の心情と、その変遷を的確に捉える。 ・働くこと、生きることをめぐる小説を読むことで、自己の世界の関わりを見つめ直し、同世代への興味を抱く契機とする。	○	◎			○
	11	7 短歌と俳句 ・折々のうた	・近代俳句・近代短歌に親しむ。 ・情景や心情を理解し、より深い鑑賞態度を身につける。 ・想像力を豊かにし、言葉への感受性を磨く。 ・俳句と短歌の表現方法を理解し、その表現効果を学ぶ。 ・作品と鑑賞文との対応関係を理解し、優れた鑑賞を味わう。	○		○		◎
	12	8 現代と文化 ・文化とは何か ・新しい博物学を	・評論の文章の流れに沿って内容をつかみ、筆者の主張や考えを理解する。 ・筆者の論理的な思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大する。 ・日常生活の中にある問題に対して興味を持つ。	◎	○			○
3 学 期	1	9 小説を読む(三) ・山椒魚 ・山月記	・小説を精読することで、そのおもしろさを味わう。 ・小説が、フィクションとして書かれていることの意味や可能性について考える。	○			◎	○
	2							
	3							
学習のポイント		教科書の本文の音読をする。内容が理解できるまで繰り返し読む。 ノートやプリントは確実に仕上げる。自宅で予習と復習をし、分からない箇所を質問する。 関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、読む能力、知識・理解を身に付けるための努力をする。						